

高分子科学・技術をもとにする ”ものづくり”中核人材育成プログラム

経済産業省
産学人材育成パートナーシップ等プログラム開発・実証事業
(平成21～22年)



管理法人：大阪大学

- プロジェクトコーディネーター：瀬恒 謙太郎 (大阪大学)
- プロジェクトサブコーディネーター：南方 聖司 (大阪大学)
- プログラム開発リーダー：宇山 浩 (大阪大学)
- プログラム開発サブリーダー：関 修平 (大阪大学)
- プログラム開発サブリーダー：前島 一夫 (大阪大学)
- プログラム開発サブリーダー：中川 隆 (化学技術戦略推進機構)
- プログラム開発リーダー：森田 正直 (近畿化学協会)

産学連携による人材育成プログラム

現状認識
(大学側課題)

学部学生・修士課程学生

- 学生の基礎学力低下
- 研究重視の教育による分野(領域)の偏り
(高分子、化学工学の教育が十分でない⇒産業界のニーズにできていない)

博士課程学生

- 博士課程進学率の低下
- 博士課程修了者の研究力に対する課題
(幅広い視野をもち、自ら課題を設定し、解決できる高い研究力が不足
⇒産業界の求める高度かつ多様な人材供給にマッチしていない)

教員

- 企業の現状に対する教員の認識不足
- 時代要請に即した高度教育に対する教員の教育力不足



大学、企業の各々の現状認識とそれを踏まえた議論

事業目的

産学連携による人材育成プログラムの開発

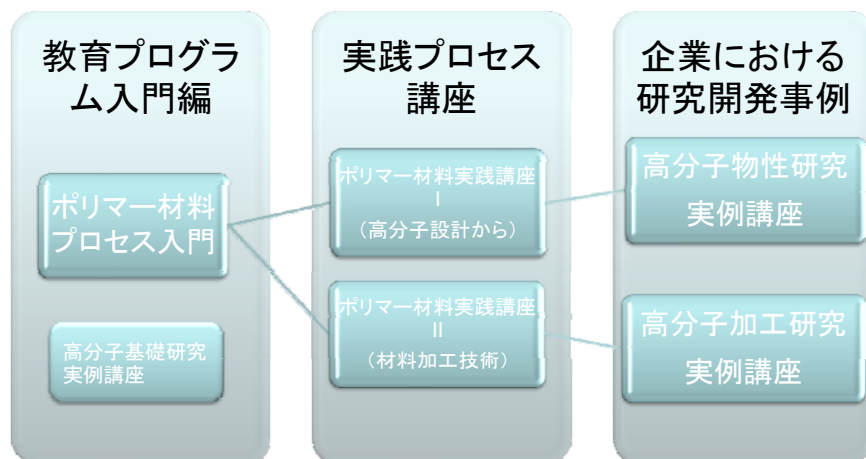
化学分野における人材育成に係る産業界のニーズと実際の教育との間のミスマッチの解消

二つのプログラムを開発・実施

基礎・実践高分子教育

集中交流型インターンシップ・研修

基礎・実践高分子教育プログラム



集中交流型インターンシップ・研修

派遣型グループミーティング

若手教員と博士課程学生の数人のグループで企業を訪問し、各自の研究トピックスの発表と議論を通して、企業の研究・開発技術者と交流する。これにより、企業における研究のテーマ設定や開発の進め方、成果の実用化に向けた具現化を理解させる。



課題設定力・解決力育成合宿

博士課程学生と企業の若手・中堅の研究・開発技術者が分野を定めてパネルディスカッションを行い、それを元に仮想的な共同研究企画を作成する。企画のプレゼンと議論を通して、研究課題の設定力・解決力を育成するとともに、合宿を通してこれらの議論を行うことにより、相互の交流・理解を深める。将来、学生が企業に就職した際に目的意識をもって社会で活躍するイメージづくりの手助けを図る。

